

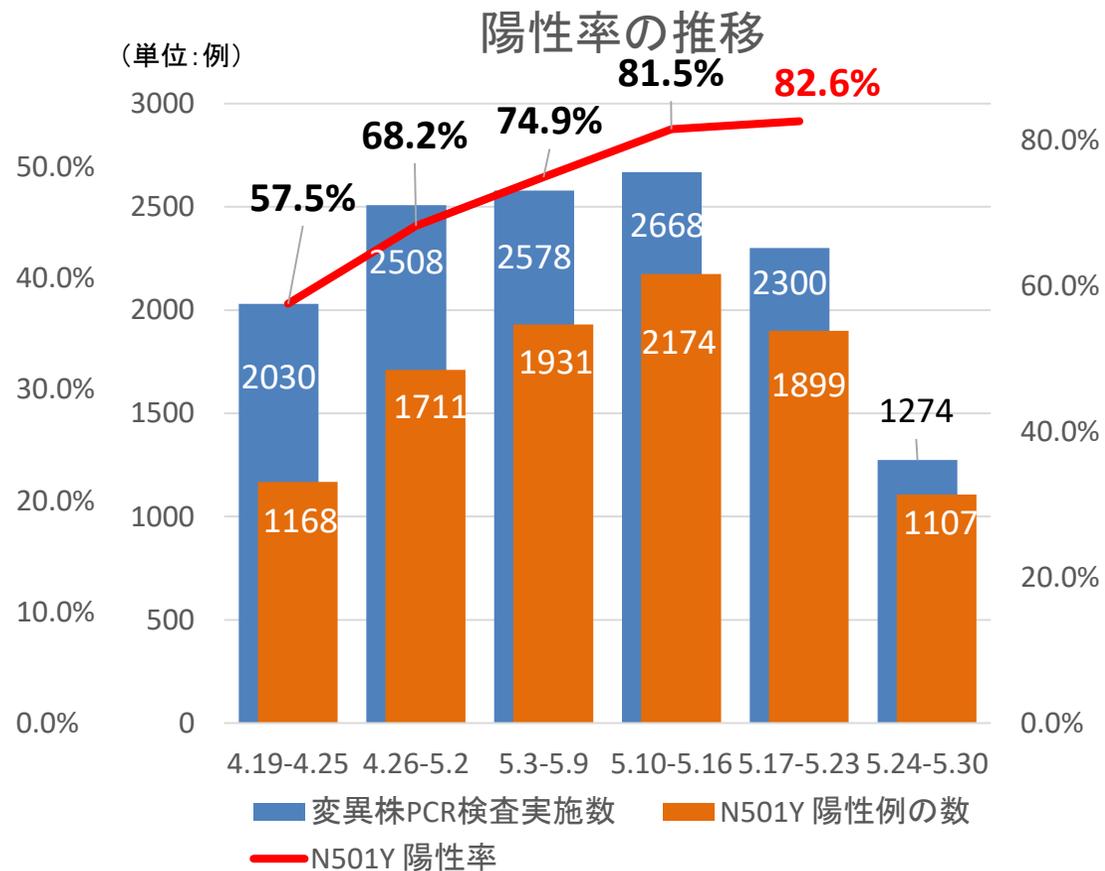
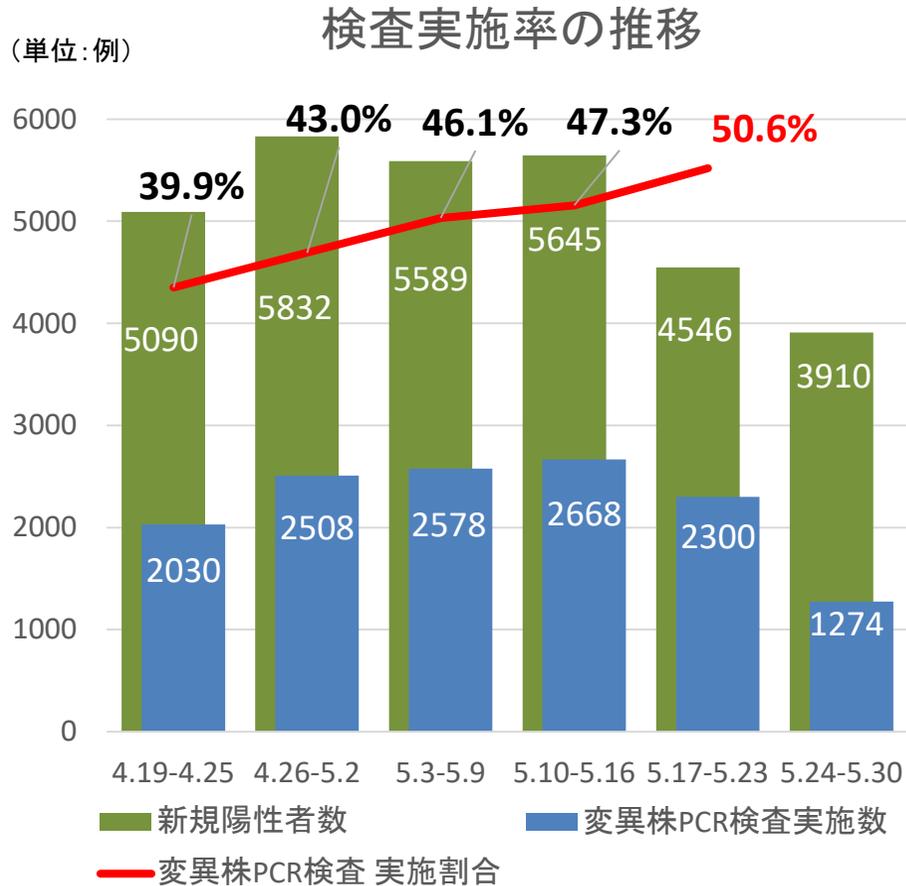
# 変異株 世界保健機関（WHO）の新呼称について

- 世界保健機関（WHO）は、新型コロナウイルスの変異株の呼称について、差別を助長する懸念から、最初に確認された国名の使用を避け、ギリシャ語のアルファベットを使うと発表。
- 国においても、同様に対応する考えを示している。

VOC:懸念される変異株  
VOI:注目すべき変異株

新呼称	最初に確認された国	系統名	国立感染研の分類 (6月2日現在)	主な変異
アルファ株(α)	英国	B.1.1.7	VOC	N501Y
ベータ株(β)	南アフリカ	B.1.351	VOC	N501Y E484K
ガンマ株(γ)	ブラジル	P.1	VOC	N501Y E484K
デルタ株(δ)	インド	B.1.617.2	VOC	L452R
イプシロン株(ε)	米国	B.1.427/B.1.429	VOI	L452R
シータ株(θ)	フィリピン	P.3	VOC	N501Y E484K
カッパ株(κ)	インド	P.1.617.1	VOC	L452R E484Q

# 都内のN501Y変異株スクリーニング実施状況 (直近6週)



※ 変異株PCR検査実施数及び陽性例の数は、健安研、地方衛生研究所(健安研以外)及び民間検査機関等の合計  
 ※ 変異株PCR検査実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある。

- N501Yの変異株PCR検査実施率は、**50%以上**
- N501Yの陽性率は、引き続き上昇し、**約83%**
- ⇒ **感染の主体はN501Y変異株に**

# L452R変異株スクリーニング検査について

## これまでの経緯

- 4月20日 国立感染症研究所において、インドで初めて検出されたデルタ株を国内で初めて確認
- 4月30日 都健安研で、L452R変異株スクリーニング検査を開始
- 5月12日 国立感染症研究所において、「VOC(懸念される変異株)」に位置付け
- 5月下旬～ 民間検査機関においても順次検査を開始

## 都内発生状況(陽性例数)

(令和3年6月4日 11時時点)

期間	都健安研		民間検査機関
	L452R変異:有 E484Q変異:有 (カッパ株)	L452R変異:有 E484変異:無 (デルタ株)	
4.5-4.11	3	1 (1)	
4.12-4.18	—	—	
4.19-4.25	—	—	
4.26-5.2	1	—	
5.3-5.9	—	1 (1)	
5.10-5.16	—	2 (2)	

期間	都健安研		民間検査機関
	L452R変異:有 E484Q変異:有 (カッパ株)	L452R変異:有 E484変異:無 (デルタ株)	
5.17-5.23	—	6 (5)	1
5.24-5.30	—	1 (1)	
計	4	11 (10)	1

合計	16
----	----

※民間検査機関における、これまでのL452R変異株検査実施数は139件となる(令和3年6月4日11時時点)。

※E484の変異の有無については、健安研独自の取組として実施

※()内の数値は、海外リンクありの内数。海外リンクとは、海外への渡航歴がある者及びその濃厚接触者

※都内確認例は、16例の他に、L452R変異株スクリーニングを経ていない国立感染症研究所のゲノム解析による確定例「12例」を加え、「28例」となる。

# 変異株（C.36）疑いの検出について

健安研で確認したL452R変異株の陽性例1件（5/24～5/30）については、  
これまで国内で確認されていない新たな変異株（C.36）の疑いがあることが判明  
※空港検疫を除く

## 変異株（C.36.3）の概要

※Public Health England 「SARS-CoV-2 variants of concern and variants under investigation in England」 27 May 2021から抜粋

- 5月24日 英国公衆衛生サービス（Public Health England）は、C.36.3を VUI（調査中の変異株）に指定
- 英国で109例確認（5月25日現在）
- GISAIDによると、5月26日現在、英国の他、34か国で確認。  
（ドイツ148、米国144、スイス62、エジプト33、ベルギー26 他）

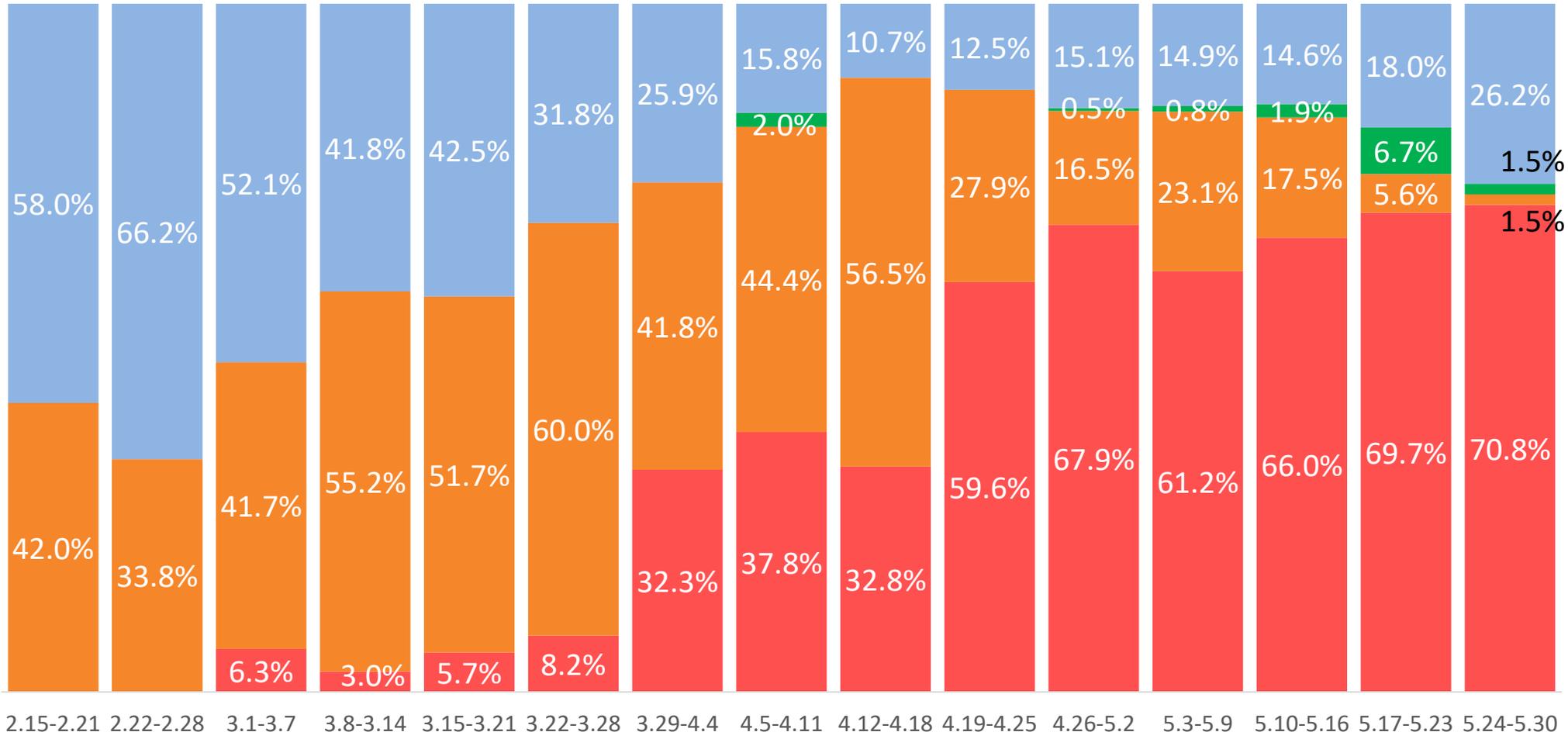
## 検出の経緯

- 5月中旬に北アフリカ地域から帰国した事例（デルタ株の指定国・地域以外）
- デルタ株の指定国・地域以外であったことから、C.36の特徴である69-70デリューションを検査し、確認

⇒ 国とも連携しながら、健安研でゲノム解析を進めていく。

# 都内変異株の発生割合（推移）

■ その他（従来株など） ■ L452R ■ E484K単独変異 ■ N501Y



※ 東京都健康安全研究センターにおけるスクリーニング結果をもとに推計

(L452Rについては、4月30日から開始。4月29日以前については、都健安研で4月1日から4月29日に受け付けた検体のうち、検査可能な検体から抽出し、改めてスクリーニング検査を実施)

※ 実績が「0.0%」については、表記を省略している。

# 【参考】都内の変異株スクリーニング実施状況一覧

(令和3年6月4日 11時時点)

	合計数	12.27まで	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28	3.1-3.7	3.8-3.14	3.15-3.21	3.22-3.28	3.29-4.4	4.5-4.11	4.12-4.18	4.19-4.25	4.26-5.2	5.3-5.9	5.10-5.16	5.17-5.23	5.24-5.30
新規陽性者数(報告日別)	104,062	—	6,122	12,681	10,787	8,490	5,961	4,004	2,660	2,391	1,942	1,779	1,959	2,108	2,457	2,728	3,276	4,105	5,090	5,832	5,589	5,645	4,546	3,910
N501Y変異株PCR検査実施数	21,218	189	180	482	371	285	246	135	367	241	188	178	208	250	509	1,030	1,298	1,703	2,030	2,508	2,578	2,668	2,300	1,274
健安研	3,777	189	180	482	371	285	246	135	107	69	65	48	67	87	183	158	196	177	136	218	121	103	89	65
地方衛生研究所(健安研以外)	94	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	28	21	8	11	14	3	4
民間検査機関等	17,347	—	—	—	—	—	—	—	260	172	123	130	141	163	326	872	1,097	1,498	1,873	2,282	2,446	2,551	2,208	1,205
変異株PCR検査 実施割合	—	—	2.9%	3.8%	3.4%	3.4%	4.1%	3.4%	13.8%	10.1%	9.7%	10.0%	10.6%	11.9%	20.7%	37.8%	39.6%	41.5%	39.9%	43.0%	46.1%	47.3%	50.6%	—
N501Y 陽性例の数	11,359	0	0	0	1	1	2	1	3	0	0	3	3	8	16	170	389	772	1,168	1,711	1,931	2,174	1,899	1,107
健安研	689	0	0	0	1	1	2	1	3	0	0	3	2	5	9	51	74	58	81	148	74	68	62	46
地方衛生研究所(健安研以外)	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	6	7	4	10	12	1	4
民間検査機関等	10,622	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	1	3	7	119	311	708	1,080	1,559	1,847	2,094	1,836	1,057
N501Y 陽性率	53.5%	—	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.8%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	1.4%	3.2%	3.1%	16.5%	30.0%	45.3%	57.5%	68.2%	74.9%	81.5%	82.6%	—
健安研	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.8%	0.7%	2.8%	0.0%	0.0%	6.3%	3.0%	5.7%	4.9%	32.3%	37.8%	32.8%	59.6%	67.9%	61.2%	66.0%	69.7%	—
地方衛生研究所(健安研以外)	51.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.0%	21.4%	33.3%	50.0%	90.9%	85.7%	33.3%	—
民間検査機関等	61.2%	—	—	—	—	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.8%	2.1%	13.6%	28.4%	47.3%	57.7%	68.3%	75.5%	82.1%	83.2%	—
L452R 陽性例の数	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	7	1
健安研	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0	0	1	1	2	6	1
民間検査機関等	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0

- ※ 変異株PCR検査実施数のうち、12月27日までの189件には、感染研に送付して実施した69件を含む
- ※ 民間検査期間等の変異株PCR検査実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある。
- ※ 都内におけるN501Y変異株確認例は、この「11,359例」の他に、スクリーニングを経ていない、国が公表したゲノム解析による確定例「12例」を加え、「11,371例」となる。
- ※ 都内におけるL452R変異株確認例は、この「16例」に加え、L452R変異株スクリーニングを経ていない、国立感染症研究所のゲノム解析による確定例「12例」を加え、「28例」となる。
- ※ L452Rについては、4月30日から開始。4月29日以前については、都健安研で4月1日から4月29日に受け付けた検体のうち、検査可能な検体から抽出し、改めてスクリーニング検査を実施
- ※ 民間検査機関等には、大学や医療機関も含む。地方衛生研究所(健安研以外)は、東京都健康安全研究センター以外の都内の地方衛生研究所

# 【参考】都内変異株の発生割合（推移）一覧

（令和3年6月4日 11時時点）

## ＜東京都健康安全研究センターにおけるスクリーニング結果＞

		リアルタイムPCRによる変異株スクリーニング															
		合計数	2.15-2.21	2.22-2.28	3.1-3.7	3.8-3.14	3.15-3.21	3.22-3.28	3.29-4.4	4.5-4.11	4.12-4.18	4.19-4.25	4.26-5.2	5.3-5.9	5.10-5.16	5.17-5.23	5.24-5.30
実施数		1,709	69	65	48	67	87	110	158	196	177	136	218	121	103	89	65
N501Y	陽性数	681	0	0	3	2	5	9	51	74	58	81	148	74	68	62	46
	構成比	39.8%	0.0%	0.0%	6.3%	3.0%	5.7%	8.2%	32.3%	37.8%	32.8%	59.6%	67.9%	61.2%	66.0%	69.7%	70.8%
E484K	陽性数	598	29	22	20	37	45	66	66	87	100	38	36	28	18	5	1
	構成比	35.0%	42.0%	33.8%	41.7%	55.2%	51.7%	60.0%	41.8%	44.4%	56.5%	27.9%	16.5%	23.1%	17.5%	5.6%	1.5%
L452R	陽性数	15	—	—	—	—	—	—	0	4	0	0	1	1	2	6	1
	構成比	0.9%	—	—	—	—	—	—	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%	1.9%	6.7%	1.5%
その他 (従来株など)	陽性数	415	40	43	25	28	37	35	41	31	19	17	33	18	15	16	17
	構成比	24.3%	58.0%	66.2%	52.1%	41.8%	42.5%	31.8%	25.9%	15.8%	10.7%	12.5%	15.1%	14.9%	14.6%	18.0%	26.2%